



お年寄りの笑顔あふれる移動販売車！～岡田商店さん～

砂山地域の皆さんの買い物事情について調べていたら、移動販売をしている方と出会いました。

♪いらしゃいませ～いらしゃいませ～♪と音楽を流しながら、牛屋集落に週3回(月・水・金)、移動販売の岡田商店さんがやってきます。

移動販売車が到着する前から、会場の重助さんのお家の前に近所のお年寄りが集まってきます。

「みんなで集まってお話するのが楽しみだよ」

「車に乗れないから近くまで来てくれて助かるよ」

「頼んで次の時に持ってきてもらうんだ」と大人気。



昭和50年から移動販売を始め、この道43年！

「良かった時代もあったけど、今は趣味みたいなもの。田舎のお年寄りは自給自足の力があるから、それほど困っているわけではないのかも。問屋も縮小してきて仕入れが大変。若い人は大手のスーパーで買い物するからそれほど需要はないかもしれないな。趣味だよ趣味。」

お年寄りと話しながら計算して間違えない、値段を忘れないのは流石！



意外と難しいんです！



「あにゃさ、餡あるかね？」



「これ、おいしかったよ！」

何十年前前から続く“当たり前”の光景かもしれませんが、移動販売が来るのを心待ちにしながらお年寄り同士世間話をしたり、お客さんを気遣いながら話をする岡田商店さんの様子を見ていると、商売以上の深い『つながり』を感じました。

「車が壊れるか、俺が壊れるか、それまでは続けるよ。商店も閉店するところが増えてきたし、福田や他の集落も周っているよ。以前よりは行くところも少ないし儲からないけど惰性だね。・・・趣味だよ。」



高齢化が進む中、移動販売は、「来れば便利」から「無くてはならないもの」に変化してきました。

集落紹介コーナー

今回は“北新保集落”です

北新保集落区長 川崎一敏さんにお話を伺ってきました！



伝統行事の七夕は、竹に折り紙や短冊で飾り付け、屋台を引いて集落を練り歩きます。環境保全でひまわりを育て、9月には親子 BBQ 大会、11月の収穫感謝祭では餅つきや豚汁を作り、区民の交流を図っています。老人クラブの活動も活発で、カラオケ、旅行、さつき園の雪囲いなど元気に活動しています。

集落情報 人口 276人 世帯数 88世帯 ※平成30年8月1日現在

いいね！

集落の課題 行事などは集落みんなで協力し、アットホームな雰囲気です。しめ縄作りやのぼり立ては、以前は「はぐるま会」という会が主体で行っていましたが、平均年齢も高くなりました。若い世代のグループもあればいいと思います。

町内行事 1月 さいの神、8月 七夕(6日)、しめ縄作り、八幡宮伊勢神楽(25日)
9月 親子 BBQ 大会、11月 収穫感謝祭 etc…

川崎さんが代表を務める「農事組合法人ホクシン」は、H28年産大豆の生産で農林水産大臣賞を受賞！

すばらしい！



集落ぐるみで盛り上げる北新保の夏。「七夕祭り」



リーダーシップを取るのは中学生。太鼓や鐘を鳴らしながら屋台を先導します。平成24年に作成したおそろいのTシャツの背中には、「**伝統継承**」の文字が刻まれていました。いつまでも受け継がれてほしい大切な行事ですね。



古くから続く伝統行事の七夕祭り。毎年8月6日の夜、小学生と中学生が大きな屋台を引き、「七夕送れよ 竹に短冊 七夕様よ〜♪」と声を合わせて歌いながら集落内を回ります。途中でお隣の長松集落の屋台と合流し、すれ違うのも、昔から変わらない「しきたり」だそうです。



すなやま支援員だよりについてご意見、ご希望がございましたら、お気軽にお問合せください。

E メールアドレス: sunayama-shien@sea.plala.or.jp